

## ■令和6年度第1回鹿嶋市総合計画審議会 議事録

令和7年1月29日(水) 10:00~11:20

鹿嶋市役所3階 会議室301

1. 開会
2. あいさつ
3. 委嘱状交付
4. 委員紹介
5. 議事

### ○事務局

1つ目の議事「会長及び副会長の選任について」、鹿嶋市総合計画審議会規則第4条第2項の規定により、本審議会の会長及び副会長は、委員の互選により選任することとなっています。どのような方法がよろしいか、皆様にお諮りします。

— 事務局一任の声あり —

事務局一任の声があったため、事務局案を申し上げます。会長に馬渡委員、副会長に水井委員を選出したいと思いますが、いかがでしょうか。

— 異議なしの声あり —

異議なしの声がありましたので、皆様の拍手をもって承認とさせていただきます。

— 拍手 —

ここからの議事進行は、本審議会規則第5条第2項の規定により、馬渡会長にお願いいたします。

### ○会長

本日の出席状況ですが、委員12名のうち、11名が出席ですので、審議会規則第5条第3項の規定により、本会議が成立しておりますことをご報告申し上げます。

それでは、2つ目の議事である「第四次鹿嶋市総合計画及び総合戦略について」事務局から説明を求めます。

— 事務局より説明 —

○委員

総合計画概要版のP5。まちの拠点として、鹿島神宮，カシマサッカースタジアム，市役所周辺を3本の柱としていますが，スタジアム移転の話が進んでおり，鹿嶋市とアントラーズはどのように連携して進めているのでしょうか。まちの拠点の範囲を決めていけるのでしょうか。

○事務局

アントラーズと連携した上で，市では，新スタジアムができた際の周辺まちづくりを一緒に盛り上げて行こうと取り組んでいます。

○委員

3年前にアントラーズが30周年を迎えた際に構想の発表をさせていただきました。新スタジアムについては，鹿嶋市や茨城県と協議を開始したところで，昨今の建設費高騰により，資金調達の面で苦慮しています。周辺まちづくりについては，次世代のまちづくりという意味で，新しいコミュニティづくりを目指して，鹿嶋市と協議を継続しているところです。

○委員

資料1の戦略4。農業・水産業の6次産業化とは何でしょうか。

○事務局

農林漁業者が採った（獲った）ものを出荷するだけでなく，加工して商品化し，付加価値をつけて市場に拡大することを6次産業化としています。次年度以降，市として，この6次産業化について支援をしていくこととしています。

○事務局

生産・加工・販売の1次・2次・3次産業の数字を掛けて6次産業と呼んでいます。

○会長

他にございませんでしょうか。

— 質問なし —

○会長

ないようですので，続きまして，3つ目の議事「KPI及び指標等の進捗管理について」事務局から説明をお願いします。

— 事務局から概要説明 —

○委員

資料2の上段。スポーツ合宿の宿泊者数5,401人／年というのは、半年間の数値または年間の推計のどちらでしょうか。また、個別事業で、課題や問題点の整理はしているのでしょうか。

○事務局

半年間での数値となっています。また、事業ごとに事業評価シートを作成しており、進捗が思わしくないものについては、個別に課題や対応策の整理を行っています。

○委員

課題の整理を行った中で、KPIを変えようという事業はあるのでしょうか。

○事務局

KPIの再設定や見直しが必要な事業もあり、再設定等が必要な事業については、次年度の総合戦略の見直しを行っていく中で、改めて各部と検証していくこととしています。

○副会長

待機児童ゼロはすばらしいことです。現在の社会情勢からいっても夫婦共働きが必要な状況ですが、基本計画施策として「まちぐるみで子育てを応援する」を掲げている中で、市としての新たな取り組みは考えていますか。

○事務局

全国的な取り組みでもありますが、鹿嶋市でも「子ども計画」を策定しており、その中で、どのような事業を盛り込むのか検討しているところです。個別給付については、国県の政策に委ねることとしており、市では独自の色として、自然・文化・教育・スポーツを活かし、妊娠期から子育てに至るまで、一元的な取り組みを検討しています。

宮中地区に新設した「鹿嶋市地域子育て支援センター」は、令和5年度には年間3万5千人の方にご利用いただいております。中身の充実を今後図ろうとしているところです。

また、子育てに悩みを持つ保護者もいるため、妊娠期から相談体制を充実させるべく、令和7年4月から「子ども家庭センター」を新たに設置して、保健センターで行っていた「母子保健」やこども相談課で行っていた「児童福祉」を一元的に対応していく予定としています。

その他、国が進める制度として「子ども誰でも通園制度」が始まることとなっていますので、鹿嶋市としても令和7年度から試行的に行い、令和8年度からの本格実施に向けて準備が進められているところです。

このように、市としては、個別施策よりも総合的な施策に取り組みながら、子育て支援の充実を図っていきます。

○委員

半期の結果ということで、1年終わったあとに、KPIの達成状況はご報告いただけるのでしょうか。

○事務局

次回ご報告させていただきます。数字だけではなく、その途中にどのような議論があったのかについても共有させていただき、ご審議いただく必要があると思っております。

○委員

予算も示されていると効果が分かりやすいです。スポーツ合宿の宿泊者数の増加にあたっては、宿泊所の整備等、課題があるかと思えます。

○事務局

事業評価シートについては、4月の市長面談に使用したものをホームページに掲載しています。次回以降、審議会の資料としても提示させていただきます。

○会長

他にございませんでしょうか。

— 質問なし —

○会長

ないようですので、続いて、報告事項といたしまして、事務局より「インフラ管理道路DX事業」についてご紹介があります。

事務局、よろしく願いいたします。

— 事務局から概要説明 —

○会長

報告事項ではございますが、委員の皆さまから本件についてご質問などがありましたらお願いします。

○委員

撮影した映像は、防犯にも活用可能なのでしょうか。

○事務局

活用は可能かと思えます。

○委員

この他に、市での DX 活用の取り組みはあるのでしょうか。

○事務局（DX・行革推進室長）

AI の活用事例として、生成 AI，AI-OCR，録音データの文字起こし等を活用し，議会答弁の支援や会議録の作成，行政文書の要約等，業務の効率化を図っています。

○委員

他自治体での先進事例はあるのでしょうか。良い取り組みなので，情報収集をしながら，さらに DX を推進してほしいと思います。

○事務局

道路 DX については，鹿嶋市が初めての事例で，近隣他市からも問合せを受けている状況です。

○会長

生成 AI について，大学では，楽をするためのものとして利用されることが多く，利用をやめるように言っており，他自治体でも AI 活用に戻り向きなところもあります。しかし，民間や世界各国では AI 活用が進んでおり，AI は社会を発展させる側面もあるため，もっとポジティブなものとして利活用していても良いのではないかと考えています。

○委員

道路 DX について，本格導入後の費用感など，課題はあるのでしょうか。

○事務局

既実装されており，実装後の費用については，これまで点検を外注していた時とほぼ同額です。費用は変わらないながら，パフォーマンスは向上しており，大きな効果を発揮していると感じています。

○会長

他にございませんでしょうか。

— 質問なし —

○会長

それでは，最後に「その他」についてでございます。皆様からご意見やご質問はございませんでしょうか。

— 質問なし —

○会長

では、以上を持ちまして、本日の議事は全て終了いたしました。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

○事務局

長時間にわたりまして、議事進行誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和6年度第1回鹿嶋市総合計画審議会を終了とさせていただきます。誠にありがとうございました。